

「高分子科学インタラクティブインターシップ」海外短期留学報告書

理学研究科 高分子科学専攻 蛋白質研究所蛋白質結晶学研究室

D1 岡田千真理

留学先：韓国 忠北 清州市 忠北大学校 薬学大学

期間：平成18年12月4日から12月10日

「インタラクティブ大学院教育」プロジェクトの一環で、平成18年12月4日より一週間韓国清州市の忠北大学校 薬学大学 李守宰研究室に短期留学しました。

忠北大学はソウル市からバスで3時間の郊外に位置し、人情味のある人々が行きかう穏やかな町にありました。韓国語の勉強もしないで実験ノートと着替えだけをキャリーバックに詰め込んで飛行機にのりましたが、予想に反して現地では、日本語を理解してくれる方はほとんどいらっしゃいませんでした。しかし人々は私が困っているのに気づくと、何も言わないでも助けてくれ、人の温かさは、私の心を穏やかにさせてくれました。

李先生は、蛋白質研究所結晶学研究室で博士号を取得し、生体内の核—細胞質間の物質輸送のメカニズムをX線結晶構造解析により解明する研究をし、私を3年間指導してくださっています。

蛋白質—核酸の結晶化というX線解析には避けて通ることのできない高い壁を越えるために、遺伝子操作、蛋白質の精製の工夫をしなければなりません。そこで、李先生と結晶化を困難にする要因についてディスカッションをし、遺伝子操作により結晶になりやすいであろう蛋白質を発現させました。

充実した日々を送らせていただいたことをインタラクティブプログラム及び李先生、様々な面で支えてくださった方々に心より感謝いたします。